Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX S30

クールピクス S30

使用説明書

商標説明

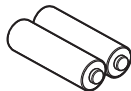
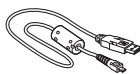
- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDXC、SDHC、SDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- PictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

はじめにお読みください

ニコンデジタルカメラCOOLPIX S30をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お使いになる前に、「安全上のご注意」（🕮vii）、「＜重要＞ 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」（🕮xiii）、本製品の使用方法をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

箱の中身をご確認ください

万一、不足のものがありましたら、ご購入店にご連絡ください。

COOLPIX S30 カメラ本体
ストラップ
アルカリ単 3 形電池（2 本）※1
USB ケーブル UC-E16
ブラシ※2
ViewNX 2 Installer CD（ViewNX 2 インストーラー CD）
活用ガイド CD

- 使用説明書
- かんたんガイド
- 保証書
- 登録のご案内

※1 付属の電池はお試し用の電池です。

※2 ブラシは防水パッキンの清掃用です。

- 付属品は、防水仕様ではありません。
- メモリーカードは付属していません。

本書について

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（🕮9）をご覧ください。
また、カメラ各部の主な役割や基本的な操作方法は、「各部の名称と基本操作」（🕮1）をご覧ください。

●付属「活用ガイド CD」について

「活用ガイド」をPDFファイルで収録しています。さらに詳しい説明を知りたいときにご覧ください。
Adobe Readerで閲覧できます。Adobe Readerは、Adobeのホームページからダウンロードできます。

「活用ガイド CD」の内容を見るには

1. パソコンを起動し、「活用ガイド CD」をCD-ROMドライブに入れる。
2. コンピューター（Windows 7/Windows Vista）、マイコンピュータ（Windows XP）または、デスクトップ（Mac OS X）にある［**COOLPIX S30**］CDアイコンをダブルクリックする。
3. INDEX.pdfアイコンをダブルクリックし、［**活用ガイド**］をクリックする。

●本書の記載について

- 本文中のマークについて

マーク	意味
☑	カメラを使用する前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
🖉	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
🕮/☼	関連情報が記載されているページです。☼は「付録、索引」のページです。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ]で囲って表記しています。
- 本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。
- 本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

●カスタマー登録のお願い

下記のホームページから登録をお願いします。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載の登録コードをご用意ください。

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャーなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故、故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●説明書について

- 説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 説明書が破損などで判読できなくなったときは、PDF ファイルを下記のホームページからダウンロードできます。

  http://www.nikon-image.com/support/manual/

  ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興行、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトウェアなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトウェアなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は以下のようになっています。

⚠危険	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠警告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、以下の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使わない** プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因になります。
発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
保管注意	**幼児の口にはいる小さな付属品（電池やブラシなど）は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。 飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
保管注意	**ストラップが首に巻きつかないようにすること** **特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
警告	**指定の電池を使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
禁止	**通電中のカメラに長時間直接触れない** 使用中に温度が高くなる部分があり、低温やけどの原因になることがあります。

⚠注意（カメラについて）

保管注意	**製品は、幼児の手の届く所に置かない** ケガの原因になることがあります。
保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
使用注意	**航空機内では、離着陸時に電源をOFFにする** **病院では、病院の指示に従う** 本機器が出す電磁波などが、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
電池を取る	**長期間使用しないときは電源(電池)を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因になることがあります。
発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因になることがあります。
禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。
放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります。
禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（リチウム電池、アルカリ電池について）

危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（リチウム電池、アルカリ電池について）

警告	**外装チューブをはがしたり、傷を付けないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
禁止	**新しい電池と使用した電池、種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
警告	**電池の「＋」と「－」の向きを間違えないようにすること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**充電池以外は充電しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池を廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。

警告

電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと
そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

警告
（アルカリ電池について）

警告

使い切った電池はすぐにカメラから取り出すこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠危険
（ニッケル水素充電池について）

使用禁止

リチャージャブルバッテリーEN-MH2は、COOLPIX用Ni-MH電池を使用するニコンデジタルカメラ専用の充電池でCOOLPIX S30に対応しています
EN-MH2に対応していない機器には使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

専用のチャージャーを使用して2本セットで同時に充電すること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池を火に入れたり、加熱しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

電池の「+」と「−」の向きを間違えないようにすること
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

分解禁止

電池をショート、分解しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

危険

ネックレス、ヘアピンなどの金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因となります。

禁止

新しい電池と使用した電池、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないこと
液もれ、発熱、破裂の原因になります。

危険

電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（ニッケル水素充電池について）

警告	**外装チューブを外したり、傷をつけないこと** **また、外装チューブがはがれたり、傷がついている電池は絶対に使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池に表示された警告、注意を守ること** 液もれ、破裂、発火の原因となります。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
保管注意	**電池は、幼児の手の届く所に置かない** 幼児の飲み込みの原因となります。飲み込んだときは、ただちに医師にご相談ください。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコン サービス機関またはリサイクル協力店にご持参くださるか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
警告	**使用説明書に表示された電池を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠注意
（ニッケル水素充電池について）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

＜重要＞耐衝撃性能、防水/防じん、結露について

- 「取り扱い上のご注意」(☆2) も、必ずお読みください。

耐衝撃性能について

MIL-STD 810F Method 516.5-Shock※に準拠した当社試験（高さ80 cmから厚さ5 cmの合板上へ落下）をパスしています。
すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
なお、落下の衝撃による塗装の剥離や変形など外観の変化は、当社試験の対象ではありません。

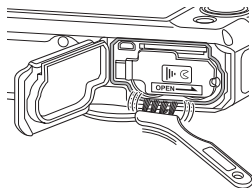
※ 米国国防総省の試験方法の規格です。
高さ122 cmから26方向（8角、12稜、6面）の落下試験を、5台のセットを使って、合計5台以内でパスする試験です（試験中に不具合が生じたときは、新たな5台のセットを使って、合計5台以内で試験します）。

● **本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動や圧力を与えないでください。**
浸水や故障の原因になります。
- 本製品を水深 3 m より深いところに入れないでください。
- 本製品に強い流水などによる水圧をかけないでください。
- 本製品をスラックスなどのポケットに入れたまま座らないでください。
バッグなどに無理に詰め込まないでください。

防水/防じん性能について

JIS保護等級 IP68 に相当し、水深 3 m で 60分まで撮影できます。※
すべての状態での無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。
※ 当社の定める使用方法で、指定圧力の水中で指定時間使用できるという意味です。

● **本製品をぶつけたり、落としたりして、強い衝撃や振動、圧力を与えた場合、防水性能を保証するものではありません。**

- 本製品に衝撃が加わったら、ご購入店かニコンサービス機関にご相談のうえ、防水性能の点検（有料）をおすすめします。
  - 本製品を水深 3 m より深いところに入れないでください。
  - 本製品に急流や滝などの強い水圧をかけないでください。
  - お客さまの誤った取り扱いが原因の浸水などによる故障は、保証の対象外です。
- 本製品の防水性能は、真水と海水のみを対象としています。
- 本製品の内部は防水仕様ではありません。浸水すると故障します。
- 付属品は防水仕様ではありません。
- カメラの外側、電池/SDカードカバーの内側に水滴などの液体が付着したら、すぐに柔らかい乾いた布でふき取ってください。ぬれたメモリーカード、電池をカメラに入れないでください。
  水辺や水中で、ぬれた状態でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になります。
  ぬれた手でカバーを開閉すると、浸水や故障の原因になりますので、特にご注意ください。
- カメラの外側や電池/SDカードカバーの内側（蝶番（ちょうつがい）、内カバー、SDカードスロット、端子など）に異物が付着したら、すぐにブロアーなどで取り除いてください。電池/SDカードカバー内側の防水パッキンに異物が付着しているときは付属のブラシで取り除いてください。付属のブラシは防水パッキンの清掃以外には使用しないでください。

- 本製品に日焼けオイル、日焼け止め、温泉、入浴剤、洗剤、石けん、有機溶剤、油脂、アルコール類などが付着したら、ただちにふき取ってください。
- 本製品を40℃以上の高温下（特に、直射日光の当たる場所、車内、船上、砂浜、そして暖房装置の近くなど）に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。

水中で使用する前のご注意

1. 電池/SDカードカバーの内側、内カバーに異物が付着していないか確かめる

- 砂、ほこり、毛髪などの異物の付着は、ブロアーなどで取り除いてください。
- 水滴など液体の付着は、柔らかい乾いた布でふき取ってください。

2. 電池室入り口付近の防水パッキン（**□3****）にひび割れや変形がないか確かめる**

- 防水パッキンの防水性能は、1年以上経過すると劣化することがあります。
  劣化していると思われるときは、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

3. 内カバー、電池/SDカードカバーを確実に閉じたか確かめる

- 「カチッ」とロックがかかるまで、カバーをスライドさせてください。

水中での使用について

浸水を防ぐために、以下にお気をつけください。

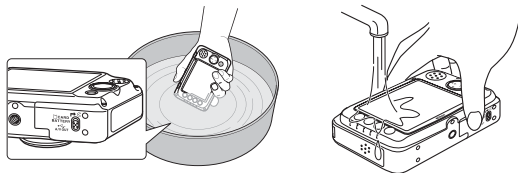
- 本製品を持って水深 3 m よりも深く潜らないでください。
- 水中で60分以上連続して使わないでください。
- 水温 0℃から40℃の範囲内でお使いください。
- 温泉では使用できません。
- 水中で電池/SDカードカバーを開閉しないでください。
- 水中で本製品に衝撃を与えないでください。
  本製品を持って水中に飛び込んだり、急流や滝などの激しい水圧をかけたりしないでください。
- 本製品は水に浮きません。水中ではカメラを落下させないようにご注意ください。

水中で使用後のクリーニング

- 水中で使った後は、60分以上放置せずに、必ずお手入れをしてください。
  異物や塩分などを付着したまま放置すると、破損、変色、腐食、異臭または防水性能の劣化の原因になります。
- お手入れの前に、手、身体や毛髪などに付着した水滴、砂、塩分などをよく取り除いてください。
- お手入れは、水しぶきや砂がかかるおそれのある場所を避け、室内をおすすめします。
- 水洗いで異物を取り除き、水分をふき取るまでは、電池/SDカードカバーを開けないでください。

1. 電池/SDカードカバーを閉じたまま、真水で洗う

水道水を少し流しながら水洗いするか、浅い容器に溜めた真水の中に、約10分間浸け置きしてください。

- ボタンやスイッチ類が正常に動かないときは、異物付着の可能性があります。
  異物は故障の原因になりますので、よく洗い流してください。

2. **柔らかい乾いた布で水滴をふき取り、風通しのよい日陰で乾かす**

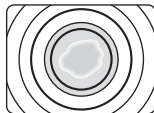
- 乾いた布などの上に立てて置いて、乾かしてください。
  マイクやスピーカーなどの隙間に入っていた水が流れ出てきます。
- ドライヤーなどの熱風や乾燥機などで乾燥させないでください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、クレンザーなどの薬品、石けん、中性洗剤などを使わないでください。
  防水パッキンやボディーが変形すると、防水性能を失います。

3. **水滴などの付着がないことを確認してから、電池/SDカードカバー、内カバーを開け、内側に残った水滴を柔らかい乾いた布でふき取り、異物をブロアーなどで取り除く**

- 十分に乾燥させないうちに、カバーを開けると、水滴がメモリーカードや電池に付着することがあります。また、水滴がカバーの内側（防水パッキン、蝶番（ちょうつがい）、SDカードスロット、端子など）に付着することがあります。
  柔らかい乾いた布で必ずふき取ってください。
- カバーを内側がぬれたままで閉じると、結露や故障の原因になります。
- マイクやスピーカーなどの孔を水滴がふさぐと、音が小さくなったり、歪んだりすることがあります。
  - 柔らかい乾いた布でふき取ってください。
  - マイクの孔やスピーカーの孔などを、尖ったもので突かないでください。
    カメラの内部を損傷すると、防水性能を失います。

使用温度と湿度、結露について

このカメラは、0℃～40℃での動作確認をしています。

- **レンズや液晶モニター、フラッシュ発光窓の内側が、温度や湿度などの使用環境によってくもる（結露する）ことがあります。本機の故障や不具合ではありません。**

- **カメラの内側が結露しやすい環境について**

以下のような温度の変化が大きい環境、または湿度が高い環境では、レンズや液晶モニター、フラッシュ発光窓の内側がくもる（結露する）場合があります。

・ 気温の高い陸上から急に水温の低い水中に持ち込む
・ 寒い場所から屋内などの温かい場所に持ち込む
・ 湿度が高い環境で、電池/SDカードカバーを開閉する

- **くもりを取る方法**

・ 高温・多湿、砂やほこりの多い場所を避け、周囲の温度が一定の場所で、電源を OFFにしてから電池/SDカードカバー、内カバーを開ける。
電池とSDカードを取り出し、カバーを開けた状態で放置し、周囲の温度になじませると、くもりが取れます。
・ くもりが取れない場合は、ご購入店かニコンサービス機関にご相談ください。

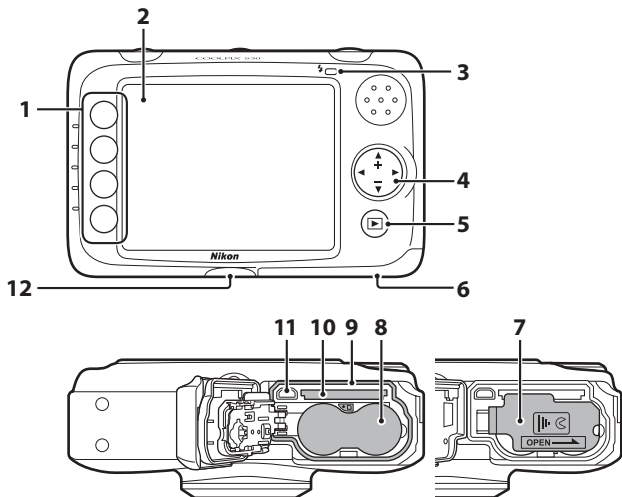
目次

各部の名称と基本操作

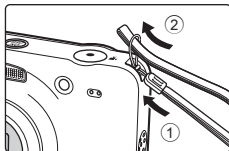
この章では、各部の名称のほか、各部の主な役割や基本操作について説明しています。

すぐにカメラをお使いになりたいときは、「撮影と再生の基本ステップ」（□9）をご覧ください。

カメラ本体

1	シャッターボタン.......................... 22	6	マイク..74
2	フラッシュ 44	7	ストラップ取り付け部.....................4
3	電源スイッチ/電源ランプ 18	8	スピーカー.......................................77
4	セルフタイマーランプ.................. 45	9	レンズ（保護ガラス付き）
5	●（🎥動画撮影）ボタン............. 74		

1	設定ボタン .... 7、31、62、80	7	内カバー................................. 10、12
2	液晶モニター 5	8	電池室...10
3	フラッシュランプ......................... 44	9	防水パッキン ....xiv、xv
4	マルチセレクター ＋：望遠ズーム............................ 21 －：広角ズーム............................ 21	10	SDカードスロット..........................12
5	▶（撮影/再生切り換え）ボタン... 25	11	USB/オーディオビデオ出力端子...64
6	電池/SDカードカバー...........10、12	12	三脚ネジ穴.................................☼19

ストラップの取り付け方

左右のストラップ取り付け部のどちらにも、ストラップを取り付けられます。

液晶モニターの表示内容

・ 撮影、再生画面に表示される情報は、カメラの設定や状態によって異なります。

撮影モード

1	設定アイコン	7
2	日時未設定	17、80
3	シャッタースピード	23
4	絞り値	23
5	［**フラッシュ禁止**］アイコン	44
6	［**色を変える**］アイコン	32
7	セルフタイマー	45
8	笑顔シャッター	47
9	［**観察写真をとる**］アイコン	39
10	電池残量表示	18
11	ズーム表示	21
12	撮影モード	30、36
13	記録可能時間（動画）	76
14	記録可能コマ数（写真）	18
15	内蔵メモリー表示	18
16	AF表示	22
17	AFエリア	20、22
18	AFエリア（顔認識時）	20、22

再生モード

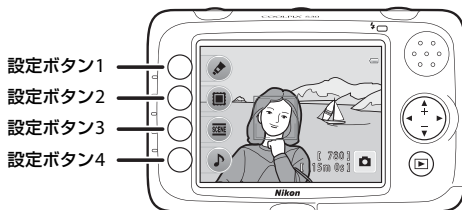
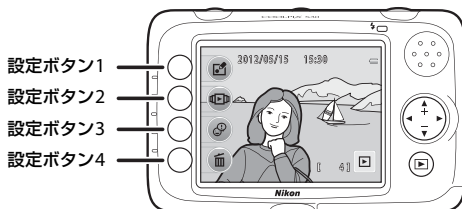
1	設定アイコン	7	8	トリミング表示	60
2	撮影日	15	9	音量表示	78
3	撮影時刻	15	10	1コマ表示切り換え	61
4	メッセージ（返事）	63	11	再生モード	62
5	メッセージ（伝言）	63	12	動画/メッセージの再生時間	63
6	お気に入りフォルダー表示	63	13	画像の番号	25
7	電池残量表示	18	14	内蔵メモリー表示	25

撮影、再生画面に情報が表示されないときは

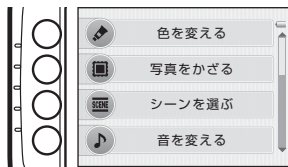
カメラを操作しない状態で数秒経過すると、電池残量表示、AF表示、AFエリアなど一部の情報以外は表示されなくなります。設定ボタン、またはマルチセレクターのいずれかを押すと、再び情報が表示されます。

設定ボタンの使い方

撮影、再生時の画面で設定ボタンを押すと、選んでいるモードに応じたメニューが表示されます。メニュー画面では、撮影や再生、カメラに関する各種設定を変更できます。
本書では、設定ボタンを上から順に「設定ボタン1」、「設定ボタン2」、「設定ボタン3」、「設定ボタン4」と表記します。

撮影モード

再生モード

項目の選び方

- メニュー項目に対応した設定ボタンを押して、項目を選びます。
- ⮌が表示されている画面では、設定ボタン1を押すと前の画面に戻ります。
  ⮌が表示されていない画面では、マルチセレクターの◀を押すと前の画面に戻ります。

撮影モード

再生モード

- メニュー画面が2ページ以上あるときは、ページの位置を示すバーが表示されます。
  ▲または▼を押して、ページを切り換えます。

マルチセレクターの▲▼を押してページを切り換えます。

設定ボタンのいずれかを押して項目を選びます。

前回の設定値（初期設定を含む）に表示されます。

撮影と再生の基本ステップ

準備

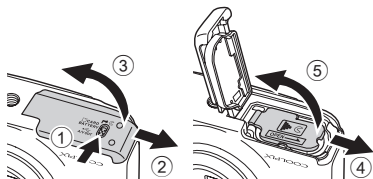
撮影

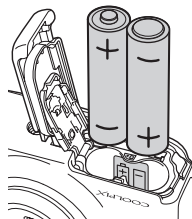
再生

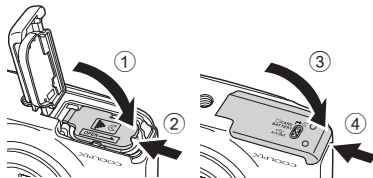
準備1　電池を入れる

このカメラのカバーは二重蓋です。電池/SDカードカバーの内側に内カバーがあります。

1 電池/SDカードカバー、内カバーを開ける

- カバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2 電池を入れる

- 電池室内の表示を見ながら、+と−を正しい向きで入れてください。

3 内カバー、電池/SDカードカバーを閉じる

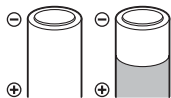
- 内カバーで電池を押し込みながら、外側から内側にスライドさせます。スライドさせずに無理に押し込むと故障の原因となります。

使用できる電池について

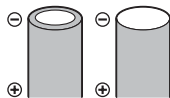
- アルカリ単3形電池（LR6）（付属の電池）×2本
- リチウム単3形電池（FR6/L91）×2本
- Ni-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）×2本

電池を取り出すときは

- 電池/SDカードカバー、内カバーを開ける前に電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してください。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、SD カードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電池についてのご注意

- 「安全上のご注意」の「危険」、「警告」、「注意」（□x～xii）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意」（☆2～☆7）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- 新しい電池と使いかけの電池を混ぜたり、型番やメーカーの異なる電池を混ぜて使わないでください。
- 以下のような電池は使用しないでください。

外装シールの一部またはすべてがはがれている電池

マイナス電極の一部が突き出ていて、外装シールが側面にしかない電池

マイナス電極が平らな電池

電池設定について

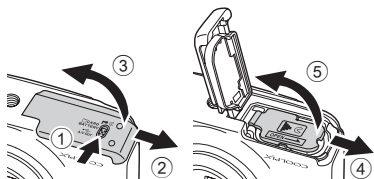
電池の種類に合わせてセットアップメニュー（□80）の［**電池設定**］を選ぶと、効率よく電池を使用できます。
初期設定は［**アルカリ電池**］です。アルカリ電池以外の電池を使うときは、電源をONにしてから電池設定を変更してください。

アルカリ電池の性能について

アルカリ電池はメーカーにより性能が大きく異なることがあります。信頼できるメーカーの電池をお使いください。

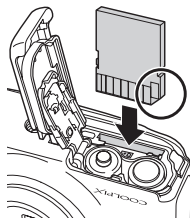
準備2　SDカードを入れる

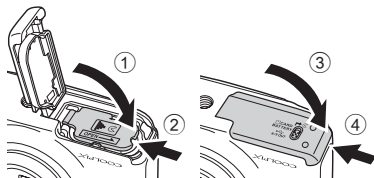
1 電源を OFF にしてから、電池 / SDカードカバー、内カバーを開ける

- 電源をOFFにすると、電源ランプと液晶モニターが消灯します。
- カバーを開けるときは、電池が落下しないよう、カメラの底面を上に向けてください。

2 SDカードを入れる

- カチッと音がするまで差し込みます。

逆挿入に注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

3 内カバー、電池/SDカードカバーを閉じる

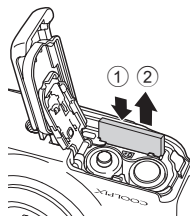
- 内カバーで電池を押し込みながら、外側から内側にスライドさせます。スライドさせずに無理に押し込むと故障の原因となります。

SDカードの初期化について

- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、このカメラで初期化してからお使いください。
- **SD カードを初期化すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内の必要なデータは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
- SD カードを初期化するには、カードをカメラに入れ、設定ボタンのいずれかを押し、セットアップメニュー（□80）の［**カードの初期化**］を選びます。

SDカードについてのご注意

SDカードの説明書や「取り扱い上のご注意　メモリーカードについて」（☼7）をご覧ください。

SDカードを取り出すときは

- 電源をOFFにして、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、電池/SDカードカバー、内カバーを開けます。SDカードを指で軽く奥に押し込むと（①）、SDカードが押し出されるので、まっすぐ引き抜きます（②）。
- カメラを使った直後は、カメラや電池、SDカードが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

内蔵メモリーとSDカードについて

撮影したデータは、カメラの内蔵メモリー（約47 MB）またはSDカードのどちらかに記録されます。内蔵メモリーで記録や再生をするには、SDカードを取り出してください。

推奨SDカード

下記のSDカードの動作を確認しています。

- 動画の撮影には、SDスピードクラスがClass 6以上のカードをおすすめします。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。

	SDメモリーカード	SDHCメモリーカード※2	SDXCメモリーカード※3
SanDisk	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
TOSHIBA	2 GB※1	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB
Panasonic	2 GB※1	4 GB、8 GB、12 GB、16 GB、32 GB	48 GB、64 GB
Lexar	–	4 GB、8 GB、16 GB、32 GB	64 GB、128 GB

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

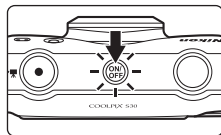
※3 SDXC 規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDXC規格に対応している必要があります。

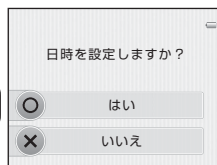
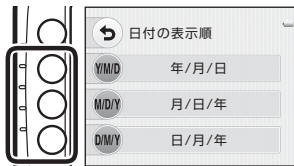
- 上記 SD カードの機能、動作の詳細、動作保証などについては、各カードメーカーにお問い合わせください。その他のメーカー製のSDカードは、動作の保証をいたしかねます。

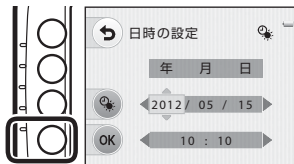
準備3　表示言語と日時を設定する

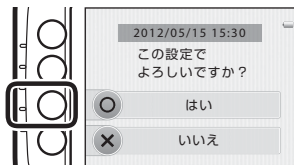
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1　電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。

2　設定ボタン2または3で表示言語を選ぶ

3　設定ボタン3（○［はい］）を押す

4　設定ボタンの2～4を押して日付の表示順を選ぶ

5　マルチセレクターの▲、▼、◀または▶で日時を合わせ、設定ボタン4（**OK**）を押す

- 項目を選ぶ：▶または◀を押します（[**年**]、[**月**]、[**日**]、[**時**]、[**分**] に切り換わります）。
- 日時を合わせる：▲または▼を押します。
- 設定を確認する：[**分**] を選び、設定ボタン 4（**OK**）を押します。
- 夏時間（サマータイム）を設定するには、設定ボタン3（夏時間アイコン）を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部に夏時間マークが表示されます。オフにするには、もう一度設定ボタン3（夏時間アイコン）を押します。

6　設定ボタン3（○ [はい]）を押す

- 撮影画面になり、カメラアイコン（オート撮影）モードで撮影できます（□18）。

言語や日時の設定をやり直すときは

- セットアップメニュー（80）で［**言語/Language**］または［**日時の設定**］を設定します。
- セットアップメニューの［**日時の設定**］で、夏時間の設定をオンにすると時計が1時間早くなり、オフにすると1時間戻ります。
- 日時未設定のまま、設定の画面を終了すると、撮影画面でが点滅します。日時未設定のまま撮影した静止画は、再生時の画面で撮影日時が表示されません。セットアップメニューの［**日時の設定**］で日時を設定してください（80）。

時計用電池について

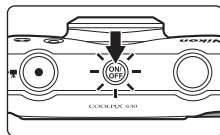
- カメラの時計は、カメラに入れる電池とは別のバックアップ用電池で動いています。
- バックアップ用電池は、カメラに電池を入れると、約 10 時間で充電され、設定した日時を数日間、記憶できます。
- バックアップ用電池が切れたときは、電源をONにすると、日時を設定する画面が表示されます。日時を再設定してください。→「準備3　表示言語と日時を設定する」手順3（15）

撮影日入りの画像をプリントするには

- 撮影前に、カメラの日時を正しく設定してください。
- セットアップメニュー（80）で［**デート写し込み**］を設定すると、撮影時に、画像に日付を写し込めます。
- ［**デート写し込み**］を設定しないで撮影した画像は、ソフトウェア「ViewNX 2」（66）を使うと、日付を入れてプリントできます。

ステップ1　電源をONにする

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

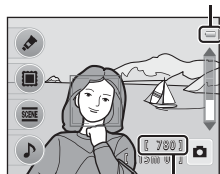
- 液晶モニターが点灯します。

2 電池残量表示と記録可能コマ数を確認する

電池残量表示

表示	意味
[電池アイコン（満）]	電池残量はあります。
[電池アイコン（少）]	電池残量が少なくなりました。 電池交換の準備をしてください。
電池残量がありません	撮影できません。 電池を交換してください。

記録可能コマ数

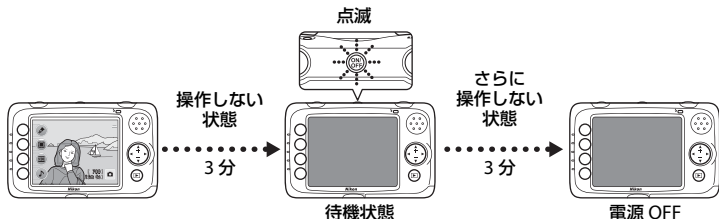
撮影できる残りのコマ数が表示されます。

- SDカードをカメラに入れていないときは、INが表示され、画像を内蔵メモリー（約47 MB）に記録します。
- 記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはSDカードのメモリー残量と［**写真**］の種類（画像サイズ/画質）で異なります（□51）。

電源のON/OFFについて

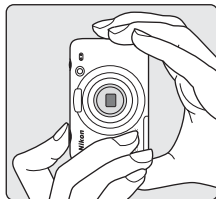
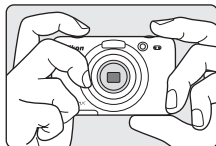
- 電源をONにすると、電源ランプ（緑色）が点灯し、液晶モニターが点灯します（液晶モニターが点灯すると、電源ランプは消灯します）。
- 電源をOFFにするには、電源スイッチを押します。電源をOFFにすると、電源ランプと液晶モニターが消灯します。
- ▶（撮影/再生切り換え）ボタンを長押しすると、再生モードで電源がONになります。

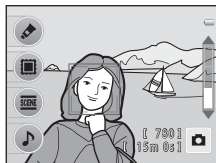
節電機能について（オートパワーオフ）

- カメラを操作しない状態が約3分続くと、液晶モニターが消灯して待機状態になり、電源ランプが点滅します。待機状態が約3分続くと電源はOFFになります。
  待機中に液晶モニターを再点灯するには、以下のボタンのいずれかを押します。
  → 電源スイッチ、シャッターボタン、▶（撮影/再生切り換え）ボタン、または●（動画撮影）ボタン
- スライドショー再生中に待機状態に入るまでの時間は、最大30分です。

撮影と再生の基本ステップ

ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- レンズやフラッシュ、マイクなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

2　構図を決める

- カメラが人物の顔を認識したときは、顔に黄色い二重枠のAF（オートフォーカス）エリアが表示されます。
- 人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、画面中央にピントを合わせるAFエリアが表示されます。写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせてください。

三脚の使用について

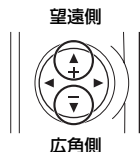
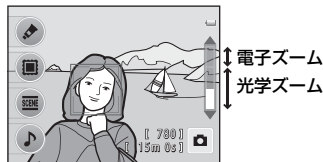
以下の場合などは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。

- 暗い場所で撮影するとき、フラッシュモード（44）を［**フラッシュ禁止**］にして撮影するとき
- 望遠側で撮影するとき

撮影と再生の基本ステップ

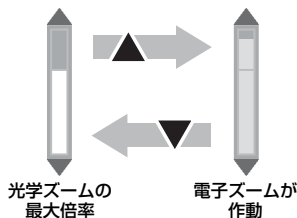
ズームを使う

マルチセレクターを押すと、光学ズームが作動します。

- 被写体を大きく写す：▲を押す。
- 広い範囲を写す：▼を押す。
  電源をONにしたときは、最も広角側になっています。

- マルチセレクターを押すと、液晶モニターの画面右側にズームの量が表示されます。

電子ズームについて

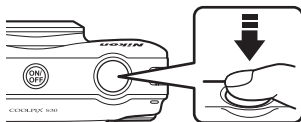
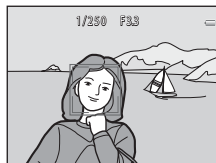
光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらに▲を押すと、電子ズームが作動します。

電子ズームは、光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。

- 電子ズーム使用時は、AF エリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、［**写真**］の種類（画像サイズ/画質）（□49）や電子ズームの倍率によって、画質が劣化します。

ステップ3　ピントを合わせ、シャッターをきる

1　シャッターボタンを半押しする（□23）

- 顔認識した場合：
  二重枠のAFエリアで囲まれた顔にピントが合います。ピントが合うと二重枠が緑色になります。
- 顔認識していない場合：
  画面中央にピントを合わせるAFエリアが表示されます。ピントが合うとAFエリアが緑色になります。

- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。ピントが合うとAF表示（□5）が緑色に点灯します。
- 半押しして、AFエリアまたはAF表示が赤色に点滅したときはピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2　シャッターボタンを全押しする（□23）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

シャッターボタンの半押しと全押し

半押し		シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。 半押しするとピントと露出（シャッタースピードと絞り値）が合います。 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
全押し		半押しの状態から、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。 シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

撮影後の記録についてのご注意

撮影後、「記録可能コマ数」または「記録可能時間」が点滅しているときは、画像または動画の記録中です。**電池/SDカードカバー、内カバーを開けないでください。**撮影した画像や動画が記録されないことや、カメラやSDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

以下のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAF表示が緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 同じパターンを繰り返す被写体（窓のブラインドや、同じ形状の窓が並んだビルなど）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、［**オートでとる**］以外のシーンをお試しください。

顔認識機能についてのご注意

詳しくは、「顔認識撮影について」（□56）をご覧ください。

フラッシュについて

暗い場所などでは、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュ（□44）が発光することがあります。

シャッターチャンスを優先する撮影では

シャッターチャンスが重要な撮影では、半押しせずに、全押ししてもシャッターをきれます。

ステップ4　画像を再生する

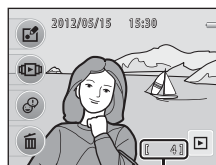
1　▶（撮影/再生切り換え）ボタンを押す

- 再生モードに切り換わり、最後に保存した画像を1コマ表示します。

2　マルチセレクターで前後の画像を表示する

- 前の画像を表示する：◀
- 次の画像を表示する：▶

- 内蔵メモリーに保存した画像を再生するときは、SDカードを取り出します。「画像の番号」にINが表示されます。
- 撮影に戻るには、▶（撮影/再生切り換え）ボタン、シャッターボタン、または●（動画撮影）ボタンを押します。

撮影と再生の基本ステップ

画像の再生について

- 前後の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 顔認識（□56）して撮影した画像は、再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます（[**続けてとる**]、[**観察写真をとる**] で撮影した画像を除く）。

関連ページ

- 拡大表示→□60
- サムネイル表示→□61
- 再生モードで使える機能（再生メニュー）→□62

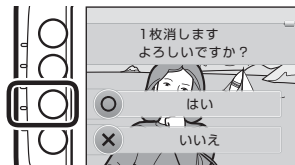
ステップ5　画像を削除する

1 削除したい画像を表示して設定ボタン4（🗑）を押す

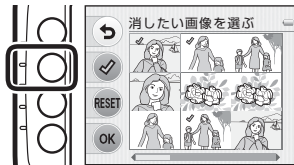
2 設定ボタン2または3を押して、削除方法を選ぶ

- 🗑［**この画像だけ消す**］：表示している1コマを削除します。
- ［**消したい画像を選ぶ**］：複数の画像を選んで削除します（📖27）。
- 削除をやめるには、設定ボタン1（↶）を押します。

3 設定ボタン3（○［はい］）を押す

- 削除した画像は、もとに戻せません。
- 削除をやめるときは、設定ボタン4（✕［**いいえ**］）を押します。

消したい画像を選ぶには

1 マルチセレクターの◀または▶で削除したい画像を選び、設定ボタン2（✓）を押す

- 選択を解除するときは、もう一度設定ボタン 2 を押して✓を非表示にします。
- 設定ボタン3（RESET）を押すと、すべての✓を非表示にします。
- マルチセレクターの▲を押すと1コマ表示に、▼を押すと一覧表示に切り換わります。

2 削除したい画像すべてに✓を表示し、設定ボタン4（OK）を押して選択を決定する

- 確認画面が表示されます。画面の表示に従って操作してください。

画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せません。残しておきたい画像はパソコンなどに保存することをおすすめします。
- メッセージが録音されている画像を削除すると、メッセージの音声も削除されます（□63）。
- お気に入り登録（□63）した画像は、選択できません。

いろいろな撮影

この章では、■（オート撮影）モードの特徴や、撮影モードで使える機能などを説明しています。撮影状況や撮影意図に合わせて設定を変えると、撮影方法や画像の仕上がりを工夫できます。

（オート撮影）モード

構図を決めるだけでカメラが撮影シーンを自動的に判別し、簡単にシーンに合った設定で撮影ができます。

- ピントを合わせるエリアは、構図によって変わります。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□56）。美肌機能で人物の肌（顔）をなめらかにします（□58）。
- 暗い場所では、フラッシュが光ることがあります。
- 暗い場所では、三脚などのご使用をおすすめします。
- 電子ズーム使用時はシーン判別をしません。

モーション検知について

（オート撮影）モードなどでは、カメラが被写体の動きや手ブレを検知すると、ブレを軽減するためにISO感度が上がり、シャッタースピードが速くなります。

（オート撮影）モードの設定を変える

（オート撮影）モードでは、以下の項目の設定が変更できます。［**フラッシュ**］、［**セルフタイマー**］、［**サイズを変える**］は、他の機能と組み合わせて使うこともできます。→「初期設定一覧」（53）

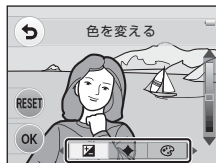
項目	内容	
色を変える	明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いを調整して撮影できます。	32
写真をかざる	画像の周りに枠を付けて撮影します。5種類の枠から選べます。	35
シーンを選ぶ	撮影シーンを選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。	36
音を変える	設定音とシャッター音を設定します。	42
フラッシュ	フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を設定できます。	44
セルフタイマー	シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターをきります。 また、笑顔シャッターの設定ができます。	45
サイズを変える	［**写真**］（静止画）と［**動画**］の画像サイズを選べます。	49、50
動画AF	動画撮影開始時のピントに固定する**AF-S**［**シングルAF**］（初期設定）、または動画撮影中にピント合わせを繰り返す**AF-F**［**常時AF**］を選べます。 **AF-F**［**常時AF**］にすると、ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、**AF-S**［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。	52
セットアップ	セットアップメニュー（カメラに関する基本設定）の項目を表示します。	80

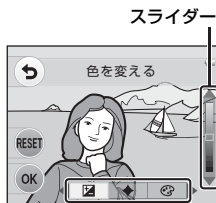
色を変える

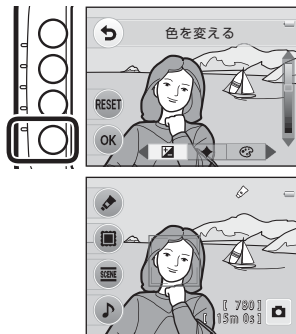
明るさ（露出補正）、鮮やかさ、色合いを調整して撮影できます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ 設定ボタン1（色を変える）

1 マルチセレクターの◀ ▶を押して、画面の、✦、またはを選ぶ

- ：明るさ（露出補正）
- ✦：鮮やかさ（彩度調整）
- ：色合い（ホワイトバランス調整）

2 明るさ、鮮やかさ、色合いを調整する

- マルチセレクターを以下のように使います。
  - ▲▼：スライダーが動きます。画面で効果を確認しながら調整できます。
  - ◀ ▶：明るさ、鮮やかさ、色合いの各項目を切り換えられます。
- 各項目について詳しくは、以下をご覧ください。
  - 「 明るさを調整する（露出補正）」（34）
  - 「✦ 鮮やかさを調整する（彩度調整）」（34）
  - 「 色合いを調整する（ホワイトバランス調整）」（34）
- 効果をオフにするときは、設定ボタン3（RESET）を押します。

3 調整が終わったら、設定ボタン4（OK）を押す

- いずれかの項目を調整すると、が表示されます。

4 シャッターボタンを押して撮影する

[色を変える] の設定について

- 明るさ、鮮やかさ、および色合いの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。
- 他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□54）。

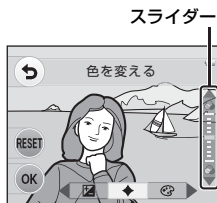
☑ 明るさを調整する（露出補正）

画像全体の明るさを調整します。

- スライダーを上方に動かすほど被写体が明るくなります。下方に動かすほど暗くなります。

✦ 鮮やかさを調整する（彩度調整）

画像全体の鮮やかさを調整します。

- スライダーを上方に動かすほど画像全体の鮮やかさが増します。下方に動かすほど鮮やかさが減ります。

色合いを調整する（ホワイトバランス調整）

画像全体の色合いを調整します。

- スライダーを上方に動かすほど画像全体の赤みが増します。下方に動かすほど青みが増します。

写真をかざる

画像の周りに枠を付けて撮影します。5種類の枠から選べます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ 設定ボタン2（▣写真をかざる）

- ［**サイズを変える**］の［**写真**］の設定は■［**小 (2M)**］に固定されます。

1 マルチセレクターの◀または▶で枠の種類を選び、設定ボタン4（OK）を押す

- 中止するときは設定ボタン1（↩）を押します。
- 設定ボタン3（⊠）を押すと、枠の設定を解除して撮影画面に戻ります。

2 構図を決めて撮影する

- 枠を付けた画像が撮影されます。

［写真をかざる］についてのご注意

- 枠の太さに応じて撮影範囲が狭くなります。
- 枠を付けた画像をフチなしでプリントすると、枠がプリントされないことがあります。

［写真をかざる］の設定について

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□54）。

シーンを選ぶ（シーンに合わせて撮影する）

撮影シーンを以下から選ぶと、そのシーンに適した設定で撮影ができます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ 設定ボタン3（SCENE シーンを選ぶ）➔ シーンの選択

オートでとる（37）（初期設定）	アップでとる（37）
水中でとる（38）	続けてとる（38）
観察写真をとる（39）	食べ物をとる（39）
好きな色を残す（40）	ふんわりとる（40）
ミニチュア風にとる（41）	花火をとる（41）

シーンモードの設定を変える

シーンによっては、撮影メニューの［**フラッシュ**］（44）、［**セルフタイマー**］（45）、［**サイズを変える**］（49）を設定できます。→「初期設定一覧」（53）

［シーンを選ぶ］の設定について

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（54）。

シーンの種類と特徴

オートでとる

（オート撮影）モードで撮影します（30）。

アップでとる

草花や昆虫、小さな被写体を撮るときなど、近づいて撮影するときに使います。

- ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 最短撮影距離は、ズーム位置によって変わります。
  ズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約 20 cm までの被写体にピント合わせができます。
  最も広角側のズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約 5 cm までの被写体にピント合わせができます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（57）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 撮影距離が 30 cm 未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

水中でとる

水中での撮影に使います。

- 最短撮影距離は、ズーム位置によって変わります。
  ズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約20 cmまでの被写体にピント合わせができます。
  最も広角側のズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約 5 cmまでの被写体にピント合わせができます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 電子ズームは使えません。
- 水中で撮影するときは、「<重要> 耐衝撃性能、防水 / 防じん、結露について」（xiii）をご覧ください。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 撮影距離が 30 cm 未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

続けてとる

動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（56）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- 連写するには、シャッターボタンを全押しし続けます。約 1.5 コマ / 秒の速さで最大 4 コマまで連写できます（［**サイズを変える**］の［**写真**］が ■［**大 (10M)**］のとき）。
- 連写した画像のピント、露出および色合いは、1 コマ目と同じ条件に固定されます。
- ［**写真**］の種類、SD カードの種類または撮影状況によって、連写速度が遅くなることがあります。

♉ 観察写真をとる

あらかじめ設定した撮影間隔で、静止画を自動的に連続撮影します。

- 設定ボタン 2 ～ 4 を押して、撮影間隔を **30s**［**30 秒ごとにとる**］、**1m**［**1 分ごとにとる**］または **5m**［**5 分ごとにとる**］に設定できます。
- 撮影できる最大コマ数は、撮影間隔によって異なります。
  - 30 秒ごとにとる：120 コマ
  - 1 分ごとにとる：60 コマ
  - 5 分ごとにとる：12 コマ
- 最長撮影時間は 1 時間です。
- カメラが人物の顔を認識すると、顔にピントが合います（□56）。
- 顔を認識しないときは、画面中央の被写体にピントが合います。
- シャッターボタンを全押しして、1 コマ目の撮影を開始します。撮影の合間は、液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。次のコマの撮影直前になると、自動的に液晶モニターが再点灯します。
- 撮影を終了するには、シャッターボタンを半押しします。
- 途中で電源が切れないように、充分に残量のある電池をお使いください。

🍴 食べ物をとる

料理の撮影に使います。

- ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 最短撮影距離は、ズーム位置によって変わります。
  ズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約20 cmまでの被写体にピント合わせができます。最も広角側のズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約 5 cm までの被写体にピント合わせができます。
- 色合いをマルチセレクターの ▲▼ で調節できます。色合いの設定は、電源を OFF にしても記憶されます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（□57）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。

好きな色を残す

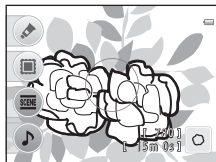
画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。

- 最短撮影距離は、ズーム位置によって変わります。
  ズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約20 cmまでの被写体にピント合わせができます。最も広角側のズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約5 cm までの被写体にピント合わせができます。
- マルチセレクターの ▲ または ▼ を押して、スライダーから残したい色を選びます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。フォーカスロックを使うと、構図を工夫して撮影できます（57）。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 撮影距離が 30 cm 未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

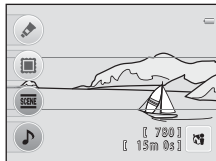
ふんわりとる

やわらかな雰囲気にするために、画面に表示されるガイドの外側を少しぼかします。

- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 最短撮影距離は、ズーム位置によって変わります。
  ズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約20 cmまでの被写体にピント合わせができます。最も広角側のズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約5 cm までの被写体にピント合わせができます。
- 電子ズームは使えません。
- 画面にガイドが表示されます。主な被写体がガイドの内側に納まるように構図を合わせます。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 撮影距離が 30 cm 未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

：が記載されているシーンでは、三脚などのご使用をおすすめします。

🏠 ミニチュア風にとる

ミニチュア（模型）を接写したような画像になります。主な被写体が画面中央付近にあり、高いところから見下ろした構図が適しています。

- 最短撮影距離は、ズーム位置によって変わります。
  ズーム表示が緑色で表示されるズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約20 cmまでの被写体にピント合わせができます。最も広角側のズーム位置では、先端保護ガラス面中央から約5 cm までの被写体にピント合わせができます。
- ピントは、画面中央のエリアで合わせます。
- 電子ズームは使えません。
- 画面にガイドが表示されます。主な被写体がガイドの内側に納まるように構図を合わせます。
- シャッターボタンを半押ししていないときもピント合わせを行います。ピント合わせの動作音が聞こえることがあります。
- 撮影距離が 30 cm 未満の場合、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがあります。

❋ 花火をとる

遅いシャッタースピードで、打ち上げ花火を撮影します。

- ピントは、遠景に固定されます。
- シャッターボタンを半押しすると、常に AF 表示（□5）が緑色に点灯します。

音を変える

設定音とシャッター音を設定します。8種類の音、またはオフから選べます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ 設定ボタン4（♪音を変える）

設定音

設定音（電子音1回：撮影/再生モード切り換え時、設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音を設定します。

- （通常音）以外に設定しても、合焦音、警告音およびオープニング音は通常音が鳴ります。
- に設定すると、設定音は鳴りません。

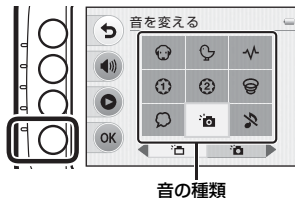
シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音を設定します。
ただし、[**続けてとる**]（38）で撮影するとき、動画撮影時は、シャッター音は鳴りません。

1 マルチセレクターの◀ ▶で、またはを選び、▲を押す

- ：設定音
- ：シャッター音
- またはが選択されているときに設定ボタン4（**OK**）を押すと、撮影画面に戻ります。

2 ▲▼◀▶で音の種類を選び、設定ボタン4（OK）を押す

- ：通常音
- ：音は鳴りません。
- 設定ボタン2（）を押すと、一時的に音を消して撮影画面に戻ります。音を鳴らすには、[**音を変える**］の画面で設定ボタン2（）を押します。
- 設定ボタン3（▶）を押すと、選んだ音を再生できます。
- 音の種類が選択されているときに設定ボタン4（OK）を押すと、手順1に戻ります。

3 設定ボタン4（OK）を押して撮影画面に戻る

フラッシュを使う

フラッシュの発光モード（フラッシュモード）を撮影状況に合わせて設定できます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ ▼を押す ➔ 設定ボタン1（⚡フラッシュ）➔ 設定ボタン2～3

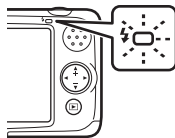
フラッシュモードの種類

⚡AUTO	**カメラにおまかせ**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
⊛	**フラッシュ禁止**
	フラッシュは発光しません。 ・ 暗い場所で撮影するときは、手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。 ・ 設定すると、撮影画面に ⊛ が表示されます。

フラッシュランプについて

シャッターボタンの半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

電池残量が少なくなると、フラッシュの充電中は液晶モニターが消灯します。

フラッシュの光が届く距離

フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～3.5 m、望遠側で約0.5～2.0 mです。

フラッシュモードの設定について

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□54）。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを押してから約10秒後にシャッターをきります。
自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときに使うと便利です。セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をおすすめします。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ ▼を押す ➔ 設定ボタン2(セルフタイマー)

1 設定ボタン2（10s［10 秒]）を押す

- が表示されます。
- ［**笑顔シャッター**］を選ぶと、顔認識した人物の笑顔を検出して、カメラが自動的にシャッターをきります（47）。

2 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

3 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中はセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは**OFF**［**オフ**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

セルフタイマーの設定について

他の機能と組み合わせて使えない設定があります（□54）。

笑顔シャッターを使う

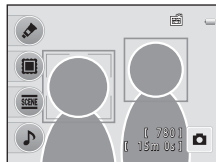
顔認識した人物の笑顔を検出して自動でシャッターをきることができます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ ▼を押す ➔ 設定ボタン2(セルフタイマー)

1 設定ボタン3（［笑顔シャッター］）を押す

- が表示されます。

2 構図を決める

- カメラが人物の顔を認識すると、顔が二重枠のAFエリア表示で囲まれ、ピントが合うと二重枠が一瞬緑色になりピントが固定されます。
- 最大3 人の顔を認識します。複数の顔を認識したときは、最も画面の中央に近い顔が二重枠のAF エリア表示で囲まれ、他の顔が一重枠で囲まれます。

3 シャッターボタンを押さずに笑顔を待つ

- カメラが二重枠で囲まれた人物の笑顔を検出すると、自動的にシャッターがきれます。
- シャッターがきれるたびに、顔認識と笑顔検出による自動撮影を繰り返します。

4 撮影を終了する

- 笑顔検出による自動撮影を手動で終了するときは、電源をOFFにするか、セルフタイマーを［**オフ**］にします。

笑顔シャッターについてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- 撮影条件などによっては、適切に顔の認識や笑顔の検出ができないことがあります。
- 「顔認識機能についてのご注意」→（□56）
- この機能は、他の機能と同時に使えない場合があります。→「同時に設定できない機能」（□54）

笑顔シャッター使用時の節電機能について

笑顔シャッター使用時は、カメラを操作しないまま以下の状態が続くと、オートパワーオフ（□19）が作動して、電源がOFFになります。

- カメラが顔を認識しない。
- カメラが顔を認識していても、笑顔を検出できない。

セルフタイマーランプの点滅について

笑顔シャッターでは、カメラが顔を認識すると点滅し、シャッターがきれた直後は速く点滅します。

手動でシャッターをきるには

シャッターボタンを押してもシャッターがきれます。顔認識していないときは、画面中央の被写体にピントが合います。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→□24

サイズを変える

撮影メニューの［**サイズを変える**］で、［**写真**］（静止画）と［**動画**］（50）の画像サイズを選べます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ ▼を押す ➔ 設定ボタン3
（サイズを変える）

写真の種類（画像サイズ/画質）

記録時の画像サイズ（画像の大きさ）を選べます。
画像の用途や内蔵メモリー /SDカードの残量に合わせて設定してください。

写真の種類	画像サイズ（ピクセル）	内容
大 (10M)（**初期設定**）	3648×2736	［**中 (4M)**］よりも高画質な画像になります。圧縮率は約1/4です。
中 (4M)	2272×1704	［**大 (10M)**］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。
小 (2M)	1600×1200	［**中 (4M)**］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。圧縮率は約1/8です。

動画の種類

撮影する動画の種類を選びます。
画像サイズが大きく、ビットレートが大きいほど高画質になりますが、ファイルサイズは大きくなります。

動画の種類	画像サイズ（ピクセル）	内容
大 (720p)（**初期設定**※）	1280×720	縦横比16:9の動画を記録します。 ・ビットレート：約 30 Mbps
小 (640)	640×480	縦横比4:3の動画を記録します。 ・ビットレート：約 10.7 Mbps

※ SDカードを入れていないとき（内蔵メモリー使用時）は、［**小 (640)**］に固定されます。

- ビットレートとは、1秒間あたりの動画のデータ量です。
- 撮影フレーム数は、いずれの設定も約30フレーム/秒です。
- 記録可能時間→□76

記録可能コマ数

内蔵メモリーや4 GBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄で記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類で、記録可能コマ数が異なります。

写真の種類	内蔵メモリー（約47 MB）	SDカード※1（4 GB）	プリント時の大きさ※2
■ 大 (10M)	約9コマ	約780コマ	約31×23 cm
■ 中 (4M)	約47コマ	約3820コマ	約19×14 cm
■ 小 (2M)	約90コマ	約7240コマ	約13×10 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。

※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cmで計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。

動画AF

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ ▼を押す ➔ 設定ボタン4（動画AF）

設定	内容
AF-S シングルAF（初期設定）	●（動画撮影）ボタンで撮影を開始したときのピントに固定します。撮影中に被写体との距離があまり変化しない撮影に適しています。
AF-F 常時AF	動画撮影中、ピント合わせを繰り返します。 撮影中に被写体との距離が変化する撮影に適しています。ピントを合わせる動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］での撮影をおすすめします。

初期設定一覧

［**シーンを選ぶ**］と組み合わせられる機能の初期設定は以下のとおりです。

	フラッシュ（□44）	セルフタイマー（□45）
アップでとる（□37）	⊛	オフ※1
水中でとる（□38）	⊛	オフ※1
続けてとる（□38）	⊛※2	オフ※2
観察写真をとる（□39）	⚡AUTO	オフ※2
食べ物をとる（□39）	⊛※2	オフ※1
好きな色を残す（□40）	⊛	オフ※1
ふんわりとる（□40）	⚡AUTO	オフ※1
ミニチュア風にとる（□41）	⊛	オフ※1
花火をとる（□41）	⊛※2	オフ※2

※1 笑顔シャッターは設定できません。
※2 変更できません。

同時に設定できない機能

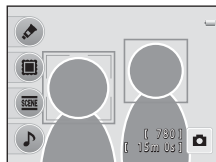
撮影時の設定には、他の機能と組み合わせて使えない設定があります。

制限される機能	設定	内容
色を変える	シーンを選ぶ（□36）	［**シーンを選ぶ**］の［**オートでとる**］以外を設定して撮影するときは、［**色を変える**］は使えません。
写真をかざる	シーンを選ぶ（□36）	［**シーンを選ぶ**］の［**オートでとる**］以外を設定して撮影するときは、［**写真をかざる**］は使えません。
シャッター音	続けてとる（□38）	［**続けてとる**］で撮影するときは、シャッター音は鳴りません。
フラッシュ	続けてとる（□38）、食べ物をとる（□39）、花火をとる（□41）	［**続けてとる**］、［**食べ物をとる**］または［**花火をとる**］で撮影するときは、［**フラッシュ**］は使えません。
笑顔シャッター	アップでとる（□37）、水中でとる（□38）、食べ物をとる（□39）、好きな色を残す（□40）、ふんわりとる（□40）、ミニチュア風にとる（□41）	［**アップでとる**］、［**水中でとる**］、［**食べ物をとる**］、［**好きな色を残す**］、［**ふんわりとる**］または［**ミニチュア風にとる**］で撮影するときは、笑顔シャッターは使えません。
サイズを変える	写真をかざる（□35）	［**写真をかざる**］で撮影するときは、［**サイズを変える**］は■［**小 (2M)**］に固定されます。
電子ズーム	水中でとる（□38）、ふんわりとる（□40）、ミニチュア風にとる（□41）	［**水中でとる**］、［**ふんわりとる**］または［**ミニチュア風にとる**］で撮影するときは、電子ズームは使えません。

制限される機能	設定	内容
電子式手ブレ補正	続けてとる（□38）、観察写真をとる（□39）、花火をとる（□41）	［**続けてとる**］、［**観察写真をとる**］または［**花火をとる**］で撮影するときは、電子式手ブレ補正は作動しません。

ピントについて

顔認識撮影について

以下の撮影モードや設定では、人物の顔にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。
複数の顔を認識したときは、ピントを合わせる顔に二重枠のAFエリアが表示され、AFエリア以外の顔に一重枠が表示されます。

撮影モード	認識する顔の数	AFエリア（二重枠）
📷（オート撮影）モード（□30）	最大12人	カメラに最も近い顔
[**シーンを選ぶ**] の [**続けてとる**]（□38）、[**観察写真をとる**]（□39）		
笑顔シャッター（□47）	最大3人	画面中央に最も近い顔

- 顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。

顔認識機能についてのご注意

- 顔の向きなどの撮影条件によっては、顔を認識できないことがあります。また、以下のような場合は、顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- 複数の人物がいた場合、どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどによっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（□24）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、📷（オート撮影）モードなどで、等距離にある別の被写体でピントを合わせるフォーカスロック撮影（□57）をお試しください。

フォーカスロック撮影

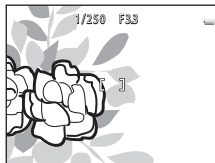
AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。
ここでは［**アップでとる**］に設定した場合の操作方法を説明します。

1 被写体を画面中央に配置する

2 シャッターボタンを半押しする

- ピントが合い、AFエリア表示が緑色に点灯します。
- 露出も固定されます。

3 半押ししたまま構図を変える

- 被写体との距離は変えないでください。

4 シャッターボタンを全押しして撮影する

美肌機能について

（オート撮影）モードでは、シャッターがきれると、人物の顔をカメラが検出し（最大3人）、画像処理で肌（顔）をなめらかにします。

美肌機能についてのご注意

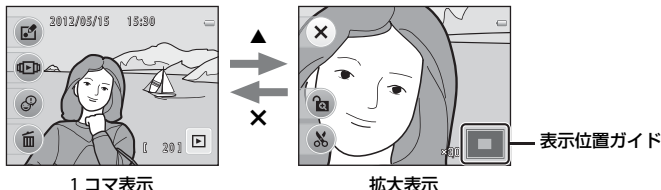
- 撮影後の画像の記録時間は、通常より長くなることがあります。
- 撮影条件によっては、美肌の効果が表れないことや、顔以外の部分が画像処理されることがあります。

いろいろな再生

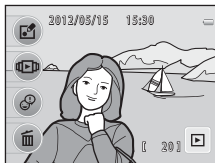
この章では、再生時に使える機能について説明しています。

拡大表示

再生モードの1コマ表示（□25）でマルチセレクターの▲を押すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

1 コマ表示　　拡大表示

- 拡大率を調節するには、マルチセレクターの▲または▼を操作します。約10倍まで拡大できます。
- 表示位置を移動するには、設定ボタン3（🔒）を押して拡大率を固定した後、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。
  拡大率を調節し直すときは、設定ボタン3（🔓）を押して拡大率の固定を解除します。
- 顔認識（□56）して撮影した画像は、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示します（[**続けてとる**]、[**観察写真をとる**］で撮影した画像を除く）。複数の顔を認識したときは、▲▼◀▶で、別の顔に移動できます。顔以外の位置を拡大するには、設定ボタン3（🔓）を押した後に▲を押します。
- 設定ボタン4（✂）を押すと、表示されている部分だけにトリミングし、別画像として保存できます。
- 設定ボタン1（✕）を押すと、1コマ表示に戻ります。

サムネイル表示

再生モードの1コマ表示（□25）でマルチセレクターの▼を押すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。

1 コマ表示　　サムネイル表示

- 画像を9コマずつ同時に表示するので、目的の画像を探しやすくなります。
- マルチセレクターの◀▶で画像を選び▲を押すと、選んだ画像を1コマ表示します。

再生モードで使える機能（再生メニュー）

1コマ表示中またはサムネイル表示中に設定ボタン（□7）を押してメニュー画面を表示すると、以下のメニュー操作ができます。

項目		内容
あそぶ※1	**色を変える**※2	画像の色調を4種類から選べます。
	好きな色を残す※2	画像の特定の色だけを残し、他の部分を白黒にします。
	写真をかざる※2	撮影した画像に枠を付けた画像を新しく作ります。5種類の枠から選べます。
	ふんわりさせる※2	画像の中央部から外側をぼかしたような雰囲気にします。
	キラキラさせる※2	太陽の反射や街灯などの光源から、放射状に光の筋を伸ばします。夜景などを撮影した画像が適しています。
	魚の眼で見る※2	魚眼レンズで撮影したような画像にします。［**アップでとる**］で撮影した画像が適しています。
	ミニチュア風にする※2	ミニチュア（模型）を接写したように加工します。高いところから見下ろして撮影した画像で、主要な被写体が画面中央付近に写った画像が適しています。

項目		内容
見る	見る※3	動画を再生できます（77）。
	お気に入り	撮影した画像をお気に入りフォルダーに登録して分類できます。画像を探すときに見つけやすくなります。また、大切な画像を誤って削除しないように、画像を保護できます。
	アルバム※1	撮影した画像をアルバムのように並べて表示します。
	スライドショー	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。
	カレンダーから選ぶ	カレンダー表示で日付を選ぶと、同じ撮影日の画像だけを再生できます。
	回転させる※1	撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。
	スモールピクチャー※1、2	撮影した画像から、サイズの小さい画像を作成します。ホームページで使ったり、電子メールへ添付したりするのに便利です。
	プリント指定※1	SDカードに記録した画像をプリンターでプリントするときに、どの画像を何枚プリントするかを設定します。
	画像コピー	内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。
メッセージを交換する※1		撮影した画像に、音声によるメッセージを付けます。
消す		撮影した画像を削除します。

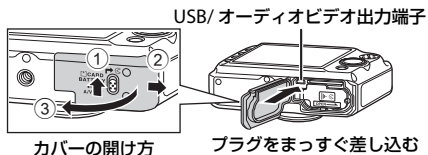
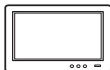
※1 静止画を表示しているときに選べます。

※2 画像を編集し、元画像とは別に保存します。同じ種類の編集の繰り返しができないなどの制限があります。

※3 動画を表示しているときに選べます。

テレビ、パソコン、プリンターとの接続

テレビやパソコン、プリンターに接続すると、撮影した画像や動画をいろいろな方法で楽しむことができます。

- 外部機器と接続するときは、カメラの電池残量が充分にあることを確認し、必ず、カメラの電源をOFFにしてから接続してください。また、接続方法や接続後の操作方法については、各機器の説明書もあわせてお読みください。

テレビで鑑賞する

撮影した画像や動画をテレビに映して鑑賞できます。
接続方法：別売のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）EG-CP14の映像プラグと音声プラグをテレビの外部入力端子に接続します。

パソコンで閲覧、管理する

66

パソコンに転送すると、静止画や動画の再生だけではなく、簡易編集や画像データの管理ができます。
接続方法：付属のUSBケーブルをパソコンのUSB端子に接続します。

- パソコンと接続する前に付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」を使って、ViewNX 2 をパソコンにインストールしてください。付属 CD-ROM「ViewNX 2 Installer」の使い方、パソコンへの簡単な転送手順については、66 ページをご覧ください。

パソコンを使わずにプリントする

PictBridge対応プリンターと接続すると、パソコンを使わずに画像をプリントできます。
接続方法：付属のUSBケーブルをプリンターのUSB端子に接続します。

ViewNX 2を使う

ViewNX 2は、画像や動画の転送、閲覧、編集、共有、これら全てを可能とするオールインワンソフトです。
付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」からインストールできます。

ViewNX 2をインストールする

・ **インストールにはインターネットに接続できる環境が必要です。**

対応OS

Windows

- Windows 7 Home Premium/Professional/Enterprise/Ultimate（Service Pack 1）
- Windows Vista Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate（Service Pack 2）
- Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 3）

Macintosh

・ Mac OS X（version 10.5.8、10.6.8、10.7.2）

対応OSに関する最新情報、動作環境については、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

1 パソコンを起動し、付属CD-ROM「ViewNX 2 Installer」をCD-ROMドライブに入れる

・ Mac OS：［**ViewNX 2**］ウィンドウが表示されるので、ウィンドウ内の［**Welcome**］アイコンをダブルクリックします。

2 ［言語選択］ダイアログで言語を選択し、［Welcome］ウィンドウを開く

・［**言語選択**］ダイアログのメニューに選択したい言語がない場合は、［**地域選択**］をクリックし、地域を選択してから言語を選択してください。
・［**次へ**］をクリックすると、［**Welcome**］ウィンドウが開きます。

3 インストールを開始する

・ インストールをする前に、［**Welcome**］ウィンドウの［**インストールガイド**］をクリックして、インストール方法のヘルプと動作環境を確認することをおすすめします。
・［**Welcome**］ウィンドウの［**インストール（推奨）**］をクリックします。

4 ソフトウェアをダウンロードする

- ［**ソフトウェアのダウンロード**］画面が表示されたら、［**同意して、ダウンロード開始**］をクリックします。
- 画面の指示に従ってインストールを続けてください。

5 インストール終了画面が表示されたら、インストールを終了する

- Windows：［**はい**］をクリックします。
- Mac OS：［**OK**］をクリックします。

以下のソフトウェアがインストールされます。

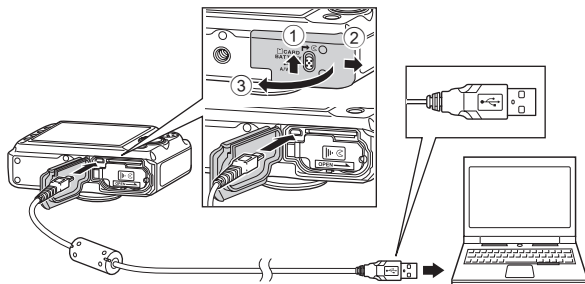
- ViewNX 2（以下の3つのモジュールで構成されています）
  - Nikon Transfer 2：画像をパソコンに取り込みます
  - ViewNX 2：取り込んだ画像の閲覧、編集、印刷ができます
  - Nikon Movie Editor：取り込んだ動画の簡易編集ができます
- Panorama Maker 6（複数コマに分割して撮影した風景などを、1枚のパノラマ写真に合成できます）
- QuickTime（Windows のみ）

6 CD-ROMをCD-ROM ドライブから取り出す

パソコンに画像を取り込む

1　画像の入ったSDカードを用意する

SD カード内の画像は、次の方法でパソコンに取り込めます。

- SD カードを入れたカメラの電源をOFF にしてから、付属のUSBケーブルでカメラとパソコンを接続し、カメラの電源をONにする。
  内蔵メモリー内の画像を取り込むには、カメラにSDカードを入れずにパソコンに接続します。

- カードスロットを装備したパソコンのときは、カードスロットに直接SDカードを差し込む。
- 市販のカードリーダーをパソコンに接続して、SD カードをセットする。

USBケーブル接続についてのご注意

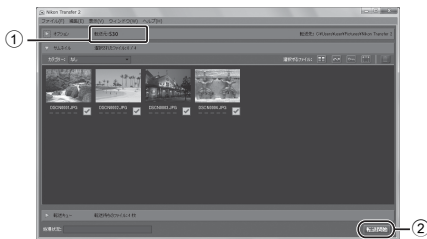
USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたときは、Nikon Transfer 2 を選びます。

- **Windows 7 をお使いの場合**
  右の画面が表示されたときは、次の手順でNikon Transfer 2を選びます。
  1［**画像とビデオのインポート**］の［**プログラムの変更**］をクリックすると表示される画面で、［**画像ファイルを取り込む - Nikon Transfer 2使用**］を選んで、［**OK**］をクリックする
  2［**画像ファイルを取り込む**］をダブルクリックする

SDカード内に大量の画像があると、Nikon Transfer 2の起動に時間がかかる場合があります。Nikon Transfer 2が起動するまでお待ちください。

2 画像をパソコンに取り込む

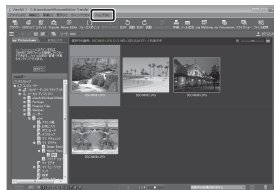
- Nikon Transfer 2の［**オプション**］の［**転送元**］に、接続したカメラ名またはリムーバブルディスクのデバイス名が表示されていることを確認します（①）。
- ［**転送開始**］ボタンをクリックします（②）。

- 記録されているすべての画像がパソコンに取り込まれます（ViewNX 2 の初期設定）。

3 接続を解除する

- カメラを接続している場合は、カメラの電源をOFF にして、USB ケーブルを抜きます。
- カードリーダーやカードスロットをお使いの場合は、パソコン上でリムーバブルディスクの取り外しを行ってから、カードリーダーまたはSDカードを取り外してください。

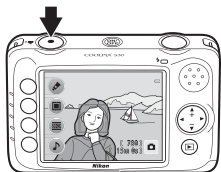
画像を見る

ViewNX 2 を起動する

- 画像の取り込みが終わると、ViewNX 2 が自動的に起動し、取り込んだ画像が表示されます。
- ViewNX 2 の詳しい使い方は、ViewNX 2のヘルプを参照してください。

ViewNX 2 を手動で起動するには

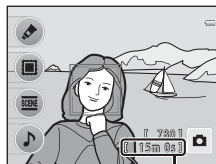
- Windows：デスクトップの［**ViewNX 2**］のショートカットアイコンをダブルクリックします。
- Mac OS：Dock の［**ViewNX 2**］アイコンをクリックします。

動画を撮影、再生する

●（▶🎥動画撮影）ボタンを押すだけで、動画を撮影できます。

動画を撮影する

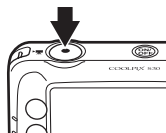
●（動画撮影）ボタンを押すだけで、すぐに動画を撮影できます。
SDカードを入れていないとき（内蔵メモリー使用時）は、動画の種類（50）は［**小 (640)**］に固定されます。［**大 (720p)**］は選べません。

1 撮影画面を表示する

- 撮影する動画の種類を選べます。初期設定は、［**大 (720p)**］（1280×720）です（50）。
- 動画の撮影時は、画角（写る範囲）が静止画に比べて狭くなります。

動画の記録可能時間

2 ●（動画撮影）ボタンを押して、動画の撮影を開始する

- 画面中央でピントが合います。動画の撮影中は、AFエリアは表示されません。

- 動画の種類が［**大 (720p)**］（1280×720）の場合、撮影画面の縦横比が16：9に切り換わります。
- 内蔵メモリーへの記録中は、が表示されます。

3 ●（動画撮影）ボタンを押して撮影を終了する

動画の記録についてのご注意

撮影終了後、撮影画面に切り換わるまでは、動画の記録は終了していません。**電池/SDカードカバー、内カバーを開けないでください。**記録が終了する前にSDカードや電池を取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

動画撮影についてのご注意

- 動画をSDカードに記録するときは、SDスピードクラスがClass 6以上のSDカードをおすすめします（□14）。転送速度が遅いカードでは、動画の撮影が途中で終了することがあります。
- 光学ズームの倍率は、動画の撮影を開始すると変更できません。
- 動画の撮影中は、マルチセレクターの ▲▼ で電子ズームを操作できます。ズームできる範囲は、撮影開始前の光学ズーム倍率から4倍までです。
- 電子ズームを使うと、画質は劣化します。電子ズームは、動画撮影を終了するとキャンセルされます。
- マルチセレクターなどの操作音やオートフォーカス、明るさが変化したときの絞り制御などの動作音が録音されることがあります。
- 動画の撮影では、液晶モニターにスミア（☼4）が発生すると、記録される動画にもスミアの影響が残ります。スミアの影響を避けるため、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。
- 撮影距離やズーム倍率によっては、動画の撮影時や再生時、同じパターンを繰り返す被写体（布地や建物の格子窓など）に色の着いた縞模様（干渉縞、モアレ）が現れることがあります。これは被写体の模様と撮像素子の配列が干渉すると起きる現象で故障ではありません。
- 動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがあります。

オートフォーカスについてのご注意

「オートフォーカスが苦手な被写体」（□24）では、ピント合わせができないことがあります。このような被写体を動画で撮影するときは、以下の方法をお試しください。

1. 撮影前に撮影メニューの［**動画AF**］を**AF-S**［**シングルAF**］（初期設定）にする（□52）。
2. 等距離にある別の被写体を画面中央に配置して●（動画撮影）ボタンを押し、動画撮影を開始してから構図を変える。

動画の記録可能時間

動画の種類（□50）	内蔵メモリー（約47 MB）	SDカード（4 GB）※2
大 (720p)（1280×720）	– ※1	約15分
小 (640)（640×480）	約32秒	約45分

数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。

※1 SDカードを入れていないとき（内蔵メモリー使用時）は、［**小 (640)**］に固定されます。

※2 1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分までです。撮影時の画面には、1回の撮影で記録可能な時間が表示されます。

動画撮影で使える機能

- ［**色を変える**］（□32）、［**アップでとる**］（□37）、［**水中でとる**］（□38）、［**食べ物をとる**］（□39）の設定も動画に反映します。動画の撮影を開始する前に設定を確認してください。
- セルフタイマー（□45）を使えます。セルフタイマーを設定し、●（動画撮影）ボタンを押すと、10秒経過後に動画撮影を開始します。
- フラッシュは発光しません。
- 動画の撮影を開始する前に設定ボタンを押すと、動画の種類や動画AFの設定ができます（□31）。

動画を再生する

1 ▶（撮影/再生切り換え）ボタンを押して再生モードにする

2 動画を選び、設定ボタン2（動画）を押す

- 再生時間（□6）が表示されている画像が動画です。

3 設定ボタン2（▶［見る］）を押す

- 動画が再生できます。

動画の削除

動画を削除するには、1コマ表示（□25）で動画を選んで設定ボタン4（🗑）を押します。

動画再生中の操作

設定ボタンで以下の操作ができます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>アイコン</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>巻き戻し</td><td>⏪</td><td colspan="2">ボタンを押している間、巻き戻します。</td></tr>
<tr><td>早送り</td><td>⏩</td><td colspan="2">ボタンを押している間、早送りします。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">一時停止</td><td rowspan="4">⏸</td><td colspan="2">ボタンを押すと、一時停止します。一時停止中は以下の操作ができます。</td></tr>
<tr><td>⏮</td><td>ボタンを押すと、コマ戻しします。押し続けると、連続してコマ戻しします。</td></tr>
<tr><td>⏭</td><td>ボタンを押すと、コマ送りします。押し続けると、連続してコマ送りします。</td></tr>
<tr><td>▶</td><td>ボタンを押すと、再生を再開します。</td></tr>
<tr><td>再生終了</td><td>✕</td><td colspan="2">ボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。</td></tr>
</table>

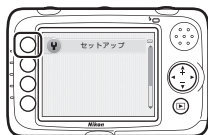
音量の調節

再生中にマルチセレクターの▲▼を押します。

 動画再生について

COOLPIX S30以外で撮影した動画はこのカメラで再生できません。

カメラに関する基本設定

この章では、Ｙセットアップメニューで設定できる項目の種類を説明しています。

・ メニュー画面の基本操作については、「設定ボタンの使い方」（□7）をご覧ください。

セットアップメニュー

撮影画面にする ➔ 設定ボタンのいずれか ➔ ▼を2回押す ➔ 設定ボタン1（Ψセットアップ）

撮影メニューで設定ボタン1（Ψ［**セットアップ**］）を押すと、以下の項目をセットアップメニューで設定できます。

項目	内容
オープニング画面	カメラの電源をONにしたときに、液晶モニターにオープニング画面を表示するかどうかを設定します。
日時の設定	内蔵時計を合わせます。
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
デート写し込み	撮影日時を画像に写し込む設定ができます。
電子式手ブレ補正	静止画を撮影するときの電子式手ブレ補正を設定します。
メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。
言語/Language	画面に表示する言語を設定します。
メニュー背景	メニュー画面の背景を設定します。
ビデオ出力	テレビとの接続に必要な設定をします。
設定クリアー	カメラを初期設定にリセットします。
電池設定	使用する電池の種類を設定します。
バージョン情報	カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

付録、索引

取り扱い上のご注意

カメラについて

お使いになるときは、必ず「**安全上のご注意**」（📖vii～ix）や「<重要> 耐衝撃性能、防水/防じん、結露について」（📖xiii～xviii）をお守りください。

● 強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりすると、故障の原因になります。また、レンズに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 内部を水で濡らさないでください
COOLPIX S30は、JIS/IEC保護等級 8（IPX8）相当の防水機能を備えていますが、カメラ内部に水が入ると、部品がサビつくなど修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。
海辺や水中で使った後は、電池/SDカードカバーをしっかりと閉じていることを確認し、浅い容器に溜めた真水の中で10分以内で浸け置きしてください。
水中でのご使用後は、60分以上放置しないでください。防水性能の劣化の原因になります。

● 浸水の防止について
カメラの内部が水に濡れると、故障の原因となり、修理不能となります。浸水（水没）事故を防ぐために、以下の注意を守ってご使用ください。
- 電池/SDカードカバー、内カバーを密閉するときは、防水パッキンと防水パッキンに接する部分に、ストラップや髪の毛、繊維、ほこりや砂粒などの異物や汚れが付着していないかお確めください。また、防水パッキンが外れたりしていないかもお確かめください。
- 電池/SDカードカバーの開閉は、水しぶきのかかる場所や、風の当たる場所、ほこりや砂の多い場所でしないでください。
- カメラに外部から力を加えると、変形して気密性を失い、浸水の原因となります。重いものを載せたり、落としたり、強く押したりしないでください。
- 万一、カメラ内部へ浸水した場合は、ただちに使用を中止し、カメラの水分を拭き取り、大至急ニコンサービス機関にお持ちください。

● 衝撃・振動について
落としたり、岩など硬いものにぶつけたり、水面に投げたりしないでください。また、振動のある場所に置かないでください。衝撃を加えると、故障や破損の原因になります。

● **最大深度などについて**

COOLPIX S30は水深3 m以内での水圧に、約60分間耐えうる設計です。3 mを超える水深では、カメラ内部の浸水などが起こり、故障の原因となるおそれがあります。

● **急激な温度変化を与えないでください**

- 温度差が極端な場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆の場合）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に結露が生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使ってください。
- 水中に入れる前に、砂浜や直射日光があたる場所など温度の高い場所に放置しないでください。

● **強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください**

強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● **長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください**

太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は、撮像素子などの褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際に撮影した画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● **電池やメモリーカードを取り外すときは、必ず電源をOFFにしてください**

電源がONの状態で取り外すと、故障の原因になります。特に、撮影中やデータの削除中は、データの破損やカードの故障の原因になります。

● **液晶モニターについて**

- モニター画面（電子ビューファインダー含む）は、非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効ドットがありますが、0.01%以下でドット抜けするものがあります。そのため、常時点灯（白、赤、青、緑）あるいは非点灯（黒）の画素が一部存在することがありますが、故障ではありません。また、記録される画像には影響ありません。あらかじめご了承ください。
- 屋外では液晶モニターは、日差しの影響で見えにくいことがあります。
- 液晶モニターの表面を強くこすったり、強く押したりすると、破損や故障の原因になります。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますのでご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないようご注意ください。

● スミアについて
明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに白色または色のついた光の帯が現れることがあります。撮像素子の特性上、強い光が入射すると発生する「スミア」という現象で、故障ではありません。また、スミアの影響で液晶モニターに色ムラが見えることもあります。
動画以外の撮影では、記録画像にスミアの影響はありません。
動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。

電池について

お使いになるときは、必ず「安全上のご注意」(📖x～xii)をお守りください。

● 使用上のご注意

- 使用後の電池は、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 使用推奨期限の過ぎた電池は使わないでください。
- 残量のなくなった電池をカメラに入れたまま、電源のON/OFFを何度も繰り返さないでください。

● 予備電池を用意する

撮影環境に応じて、予備バッテリーをご用意ください。地域によっては入手が困難な場合があります。

● 充電について

別売のリチャージャブルバッテリーをお使いの際は、撮影の前に充電してください。ご購入時にはフル充電されておりません。
バッテリーチャージャーに付属の説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

● リチャージャブルバッテリーの充電について

- 型番の異なるバッテリー、残量の異なるバッテリーを混用しないでください。
- COOLPIX S30にEN-MH2を使う場合は、バッテリーチャージャー MH-72 で2本同時に充電してください。バッテリーチャージャー MH-73では、2本または4本同時に充電してください。MH-72、MH-73以外の充電器では充電しないでください。
- MH-72、MH-73でEN-MH2以外の充電池を充電しないでください。

● Ni-MHリチャージャブルバッテリー EN-MH1とバッテリーチャージャー MH-70/71をお使いの方へ

- このカメラはNi-MH リチャージャブルバッテリー EN-MH1も使えます。
- EN-MH1は、MH-70、MH-71以外の充電器では充電しないでください。
- MH-70、MH-71で EN-MH1以外の充電池を充電しないでください。
- 電池設定(📖80)は[**COOLPIX(Ni-MH)**]に設定してください。

● ニッケル水素充電池について

- ニッケル水素充電池は、残量がある状態で繰り返し充電すると、メモリー効果(電池容量が一時的に低下したような特性を示す現象)で、[**電池残量がありません**]と早めに表示されることがあります。最後まで使い切ってから充電すると、正常に戻ります。
- ニッケル水素充電池の残量は、お使いにならないときでも自然放電で減っていきます。お使いになる直前に充電するようおすすめします。

● **低温時には残量のじゅうぶんな電池を使い、予備電池も用意する**
電池は一般的な特性として、性能が低温時に低下します。低温時には、電池およびカメラを冷やさないようにしてください。消耗した電池を低温時に使うと、カメラが動かないこともあります。予備の電池は保温し、交互にあたためながらお使いください。低温で一時的に使えなかった電池も、常温に戻ると使える場合があります。

● **電池の接点について**
電池の接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがあります。接点の汚れは、乾いた布で拭い取ってください。

● **電池の残量について**
電池の特性上、残量のなくなった電池でもカメラに入れると、電池の残量が充分にある状態を表示することがありますので、ご注意ください。

● **リサイクルについて**
使えなくなったバッテリーは、廃棄しないでリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

Ni-MH

メモリーカードについて

● 使用上のご注意
- メモリーカードは、SDカード以外は使えません。推奨カード→□14
- お使いになるときは、必ずメモリーカードの説明書の注意事項をお守りください。
- ラベルやシールを貼らないでください。

● 初期化について
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラではじめて使うときは、必ずこのカメラで初期化してください。未使用のSDカードは、このカメラで初期化してからお使いになるようおすすめします。
- SDカードを初期化すると、カード内のデータは、すべて削除されます。初期化する前に、必要なデータはパソコンなどに保存してください。
- SDカードを入れたあとにカメラに［**このカードは初期化されていません。初期化しますか？**］の警告メッセージが表示されたときは初期化が必要です。削除したくないデータがある場合は、設定ボタン4（✕［**いいえ**］）を押してください。必要なデータはパソコンなどに保存してください。カードを初期化してよければ、設定ボタン3（○［**はい**］）を押してください。
- 初期化中、画像の記録中や削除中、パソコンとの通信中などに以下の操作をすると、データの破損やカードの故障の原因になります。
  - 電池/SDカードカバー、内カバーを開けて、カードや電池を脱着する
  - カメラの電源をOFFにする

お手入れ方法

クリーニングについて

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品は使わないでください。

レンズ

ガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないようご注意ください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどでガラス部分の中央から外側に円を描くようにゆっくりと拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。汚れが取れないときは、レンズクリーナー液（市販）で湿らせた柔らかい布で軽く拭いてください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やメガネ拭きなどで軽く拭き取ってください。強く拭いたり、硬いもので拭いたりすると、破損や故障の原因になることがあります。

カメラボディー

- ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
- 水中や海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
- 日焼け止めが付着した手でカメラを使うと、カメラ外装の劣化の原因になることがあります。

ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因になります。この場合、当社の保証の対象外になります。

カメラのお手入れについて

「防水/防じん性能について」（xiv）、「水中で使用後のクリーニング」（xvi）もお読みください。

保管について

カメラを長期間お使いにならないときは、電池を取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、「月に一度」を目安に電池を入れ、カメラを操作するようおすすめします。
カメラを以下の場所に保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50℃以上、または－10℃以下の場所
- 湿度が60%を超える場所

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

電源、表示、設定関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラの電源が突然切れる	• 電池残量がありません。 • 無操作状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラや電池が正常に動作しないことがあります。	18 19 🔅5
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • 電池残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。電源スイッチ、シャッターボタン、▶（撮影 / 再生切り換え）ボタン、または ●（📹 動画撮影）ボタンを押してください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。充電が完了するまでお待ちください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 • カメラとテレビがオーディオビデオケーブルで接続されています。	19 18 2、19 44 64、69 64
液晶モニターがよく見えない	• 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。	80 🔅8

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に日時未設定マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時が「2012/01/01 00:00」と記録されます。静止画の撮影日時は再生時の画面に表示されません。セットアップメニュー［**日時の設定**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時の設定を行うことをおすすめします。	15、80
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時の設定**］が設定されていません。	15、80
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	動画には写し込みできません。	80
電源を入れると日時の設定画面が表示される	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	15、17
設定内容が初期状態に戻ってしまった	時計用電池が切れたため、設定がリセットされました。	15、17
カメラの温度が高くなる	動画撮影などで長時間使ったり、周囲の温度が高い場所で使ったりすると、カメラの温度が高くなることがありますが、故障ではありません。	–

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにして電池を入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
撮影モードにできない	USBケーブルを外してください。	64、69
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶（撮影 / 再生切り換え）ボタン、シャッターボタン、または ●（動画撮影）ボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、設定ボタン 1（↩）またはマルチセレクターの ◀ を押してください。 • 電池残量がありません。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	25 7 18 44
ピントが合わない	• 被写体との距離が近すぎます。📷（オート撮影）モード、または［**シーンを選ぶ**］の［**アップでとる**］での撮影をお試しください。 • オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • 電源を入れ直してください。	30、37 24 19
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。	44 45

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに光の帯や色ムラが発生する	明るい被写体にレンズを向けるとスミアが発生することがあります。動画の撮影では、太陽や太陽の照り返し、電灯などを画面内に入れずに撮影するようおすすめします。	74、🔆4
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを⊛［**フラッシュ禁止**］にしてください。	44
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが ⊛［**フラッシュ禁止**］になっています。 •［**シーンを選ぶ**］でフラッシュが発光しない機能が選ばれています。	44 53
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	74
電子ズームが使えない	撮影メニュー［**シーンを選ぶ**］が［**水中でとる**］、［**ふんわりとる**］、［**ミニチュア風にとる**］のときは、電子ズームは使えません。	38、40、41
シャッター音が鳴らない	• 撮影メニュー［**音を変える**］のシャッター音がオフになっています。オフ以外を選んでいても、撮影モードや設定によってはシャッター音が鳴りません。 • スピーカーをふさがないでください。	42 2
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	🔆8
画像の色合いが不自然になる	適切な色合いが選ばれていません。	32、39
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。フラッシュを使ってください。	44

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが ⊛［**フラッシュ禁止**］になっています。 • フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。	44 20 44 34
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	34
画像の記録に時間がかかる	以下の場合、画像の記録に時間がかかることがあります。 • 暗い場所などで自動的にノイズ低減機能が作動したとき • 美肌機能で撮影したとき	– 30、58

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダー名が変更されました。 • このカメラ以外で撮影した動画は再生できません。	– 78
画像の拡大表示ができない	• 動画やスモールピクチャー、320 × 240 以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。 • このカメラ以外で撮影した画像は、拡大できないことがあります。	–

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
色を変える、好きな色を残す、写真をかざる、ふんわりさせる、キラキラさせる、魚の眼で見る、ミニチュア風にする、スモールピクチャー、トリミングができない	• 動画は編集できません。 • ［**アルバム**］で作成した画像は、編集できません。 • ［**写真をかざる**］で撮影した画像に、［**スモールピクチャー**］以外の編集はできません。 • ［**お気に入りを見る**］で再生している画像は、トリミングできません。 • 同じ種類の編集の繰り返しはできません。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。	– 63 35 63 62 62
画像を回転できない	このカメラ以外で撮影した画像は、回転できません。	–
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときは SD カードを取り出してください。	80 12
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer 2が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • 電池残量がありません。 • USB ケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • 対応 OS を確認してください。 • Nikon Transfer 2 が自動起動しない設定になっています。Nikon Transfer 2 については、ViewNX 2 のヘルプをご覧ください。	19 18 64、69 — 66 69
プリントする画像が表示されない	• 画像が記録されていない SD カードが入っています。SD カードを交換してください。 • 内蔵メモリーの画像をプリントするときは SD カードを取り出してください。	12

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」ができません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 ・ カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 ・ 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	64 —

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX S30

型式	コンパクトデジタルカメラ
有効画素数	10.1メガピクセル
撮像素子	1/3型 原色CCD、総画素数10.44メガピクセル
レンズ	光学3倍ズーム、NIKKORレンズ
焦点距離	4.1-12.3mm（35mm判換算29.1-87.3 mm相当の撮影画角）
開放F値	f/3.3-5.9
レンズ構成	5群6枚
電子ズーム	最大4倍（35mm判換算で約 349 mm相当の撮影画角）
手ブレ補正	電子式（静止画）
オートフォーカス	コントラスト検出方式
撮影距離	• 先端保護ガラス面中央から約 30 cm ～∞（広角側）、約 50 cm ～∞（望遠側） • ［**アップでとる**］、［**水中でとる**］、［**食べ物をとる**］、［**好きな色を残す**］、［**ふんわりとる**］、［**ミニチュア風にとる**］時は先端保護ガラス面中央から約 5 cm（広角側）～∞
AFエリア	中央、顔認識
液晶モニター	2.7型TFT液晶、約 23万ドット、輝度調節機能付き（5段階）
視野率（撮影時）	上下左右とも約98%（対実画面）
視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式	
記録媒体	内蔵メモリー（約 47 MB）、SD/SDHC/SDXCメモリーカード
画像ファイル	DCF、Exif 2.3、DPOF準拠
ファイル形式	静止画：JPEG メッセージ：WAV 動画：AVI（Motion-JPEG 準拠）

画像モード（写真の種類）		・10M［3648 × 2736］ ・4M［2272 × 1704］ ・2M［1600 × 1200］
ISO感度（標準出力感度）		オート（ISO 80～1600）
露出		
	測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光（電子ズームが2倍未満のとき）、スポット測光（電子ズームが2倍以上のとき）
	露出制御	プログラムオート、モーション検知機能付き、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
シャッター		メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
	シャッタースピード	・1/2000 ～ 1 秒 ・4 秒（［**シーンを選ぶ**］の［**花火をとる**］）
絞り		電磁駆動によるNDフィルター（－3 AV）選択方式
	制御段数	2（f/3.3、f/9.3［広角側］）
セルフタイマー		約 10秒、笑顔シャッター
フラッシュ		
	調光範囲（ISO感度設定オート時）	約 0.3～3.5 m（広角側） 約 0.5～2.0 m（望遠側）
	調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
インターフェース		Hi-Speed USB
	通信プロトコル	MTP、PTP
ビデオ出力		NTSC、PALから選択可能
入出力端子		オーディオビデオ（AV）出力/デジタル端子（USB）
言語		日本語、英語の2言語
電源		・アルカリ単 3 形電池、リチウム単 3 形電池のいずれかを各 2 本 ・リチャージャブルバッテリー EN-MH2（ニッケル水素充電池）× 2 本（別売）
撮影可能コマ数（電池寿命）※		・約 240 コマ（アルカリ電池使用時） ・約 700 コマ（リチウム電池使用時） ・約 410 コマ（EN-MH2 使用時）

動画撮影可能時間（電池寿命）	・約 50 分（[**大 (720p)**]、アルカリ電池使用時） ・約 3 時間 45 分（[**大 (720p)**]、リチウム電池使用時） ・約 2 時間 25 分（[**大 (720p)**]、EN-MH2 使用時） （1回の撮影で記録可能な時間は、SDカードの残量が多いときでもファイルサイズ4 GBまで、または最長29分）
三脚ネジ穴	1/4（ISO 1222）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約 101.9×64.8×39.4 mm（突起部除く）
質量	約 214 g（電池、SDメモリーカード含む）
動作環境	
使用温度	0℃～40℃
使用湿度	85%以下（結露しないこと）
防水性能	JIS/IEC保護等級 8（IPX8）相当（当社試験条件による） 水深3 m、60分までの撮影が可能
防じん性能	JIS/IEC保護等級 6（IP6X）相当（当社試験条件による）
耐衝撃性能	MIL-STD 810F Method 516.5-Shockに準拠した当社試験条件（※2）をクリアー

- 仕様中のデータは、すべて常温（25℃）、アルカリ単3形電池使用時のものです。リチウム電池のデータは、市販の「エナジャイザー リチウム乾電池（単3形）」使用時のものです。

※ 1　電池寿命測定方法を定めた CIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23（±2）℃、撮影ごとにズーム、2 回に 1 回の割合でのフラッシュ撮影、［**サイズを変える**］の［**写真**］の設定が ■［**大 (10M)**］（3648 × 2736）です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動することがあります。
付属の電池はお試し用の電池です。

※ 2　高さ 80 cm から厚さ 5 cm の合板に落下させます（落下衝撃部分の塗装剥離、変形など外観変化、防水性能は不問とします）。
すべての条件での無破壊、無故障を保証するものではありません。

説明書について

- 説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.3：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報をいかして最適なプリント出力を得ることができます。
  詳しくはプリンターの説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

付録、索引

マ

ラ

アフターサービスについて

■この製品の使い方や修理に関するお問い合わせは

- 使い方に関するご質問は、裏面に記載の「ニコン　カスタマーサポートセンター」にお問い合わせください。
- 修理に関するご質問は、裏面に記載の「修理センター」にお問い合わせください。

【お願い】

- お問い合わせいただく場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、「問題が発生したときの症状」、「表示されたメッセージ」、「症状の発生頻度」など。
- ソフトウェアのトラブルの場合には、おわかりになる範囲で結構ですので、次の内容をご確認の上、お問い合わせください。
  「ソフトウェア名およびバージョン」、「パソコンの機種名」、「OSのバージョン」、「メモリー容量」、「ハードディスクの空き容量」、「問題が発生したときの症状」、「症状の発生頻度」、エラーメッセージが表示されている場合はエラーメッセージの内容など。
- ファクシミリや郵送でお問い合わせの場合は「ご住所」、「お名前」、「フリガナ」、「電話番号」、「FAX番号」を（会社の場合は会社名と部署名も）明確にお書きください。

■修理を依頼される場合は

- ニコンサービス機関（裏面に記載の「修理センター」など）、ご購入店、または最寄りの販売店にご依頼ください。
- ニコンサービス機関につきましては、詳しくは「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。

【お願い】

- 修理に出されるときは、メモリーカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。
  ※内蔵メモリー内に画像データがあるときは、消去される場合があります。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ニコンサービス機関またはご購入店へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

Nikon

製品の使い方に関するお問い合わせ

<ニコン カスタマーサポートセンター>
全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

携帯OK

0570-02-8000
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30 〜 18:00(年末年始、夏期休業日等を除く毎日)
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。
ファクシミリでのご相談は、(03) 5977-7499 にお送りください。

修理サービスのご案内

修理品のお引き取りを依頼される場合は

<ニコン ピックアップサービス>
下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。全国一律の料金にて承ります。
※宅配便で扱える大きさや重さには制限があるため、取り扱いできない製品もございます。

0120-02-8155

営業時間：9:00〜18:00（年末年始12/29〜1/4を除く毎日）

※上記のフリーダイヤルはピックアップサービス専用です。ニコン指定の配送業者(ヤマト運輸)にて承ります。
製品や修理に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンター、または修理センターへお願いいたします。

修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

<(株)ニコンイメージングジャパン　修理センター>
230-0052　横浜市鶴見区生麦2-2-26

携帯OK

0570-02-8200
一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9:30〜17:30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）
ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、(03) 6702-0577 におかけください。

●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。

インターネットご利用の方へ

<ニコンイメージング／サポートページ>

- http://www.nikon-image.com/support/
  最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデートに関する情報がご覧いただけます。
  ※製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスされるようおすすめします。
- http://www.nikon-image.com/support/repair/
  「ニコン　ピックアップサービス」のお申し込みや修理見積もり金額の確認、インターネットを利用して修理を申し込まれた場合の修理状況や納期の確認などがご覧いただけます。

※お問い合わせや修理を依頼をされるときには、裏面の「アフターサービスについて」も参照ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

Printed in China

CT2A01(10)
6MNA5310-01